東北６県と整備局が創る
河川・ダム・砂防・海岸事業の新たな連携
「個性の大地」

第３０号（平成２２年　４月）
東北地方整備局河川部
地域河川課　発行

新 任 の 挨 拶

東北地方整備局
地域河川調整官　葛西　敏彦



４月より地域河川調整官にまいりました葛西です。出身は青森県ですが、かみさんに引っ張られ盛岡市に本拠地を構えてしまいました。

これまで東北六県のうち四県と、東京都、茨城県の六都県に勤務してまいりました。残念ながら山形県と福島県には勤務したことがありませんので、両県の皆様には面倒かもしれませんが、河川やダム等の位置から教えていただければ幸いです。

また、他の四県の皆様にも、市町村合併で名前が変わった自治体が多く、よく分からなくなっておりますので、危機管理対応を迅速に行うためにも、河川やダム等の位置から教えていただきたいと思っております。

さて、今年は、六十干支（ろくじっかんし）の庚寅(ごうのとら)です。この年に生まれた女性は、丙午(ひのえうま)生まれの女性の次に、気が強いと言われております。

そこで国内の危機管理に関することについて、６０年前、１２０年前の庚寅年に、何が起こったかを調べてみました。

日本では大洪水や大地震はなかったものの、１２０年前には、全国でコレラが流行しました。その数年前には、岩手・秋田県内でコレラが流行しておりました。鳥インフルエンザや新型インフルエンザが流行している現在と非常に似ております。

また、６０年前は、朝鮮戦争が勃発しております。現在の北朝鮮情勢を考えると・・・・・。

いずれにせよ、チリや中国で大地震が起きていることなどから最悪の事態を想定して、心の準備をしておくことが大切だと思っております。

皆様のご協力・ご指導を得ながら、東北六県の人々の安全安心のため、微力ながら最善を尽くして参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

平成２２年度河川局関係予算等概要

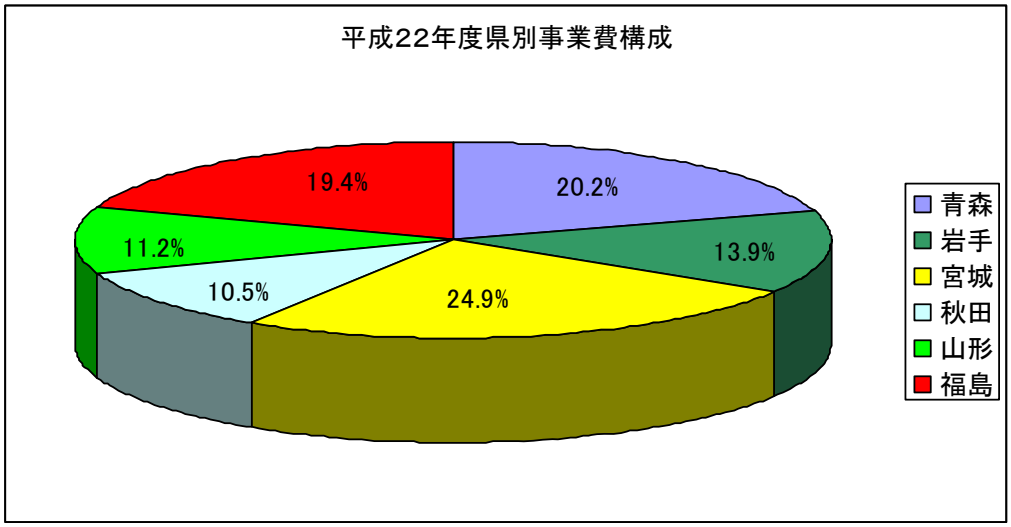
東北地方整備局の河川局関係予算等の平成２２年度事業費は、当初予算で総額約３７１億円（前年度比０．８１２）であり、河川、海岸、ダム、砂防等にかかる事業の計画的・効率的執行により、地域住民が安全・安心で、ゆとりとやすらぎのある暮らしが営まれるとともに、直轄事業や他事業関連との調整を図りながら東北地方における社会・経済の基礎となる社会資本の一層の推進を図ります。

平成２２年度事業費

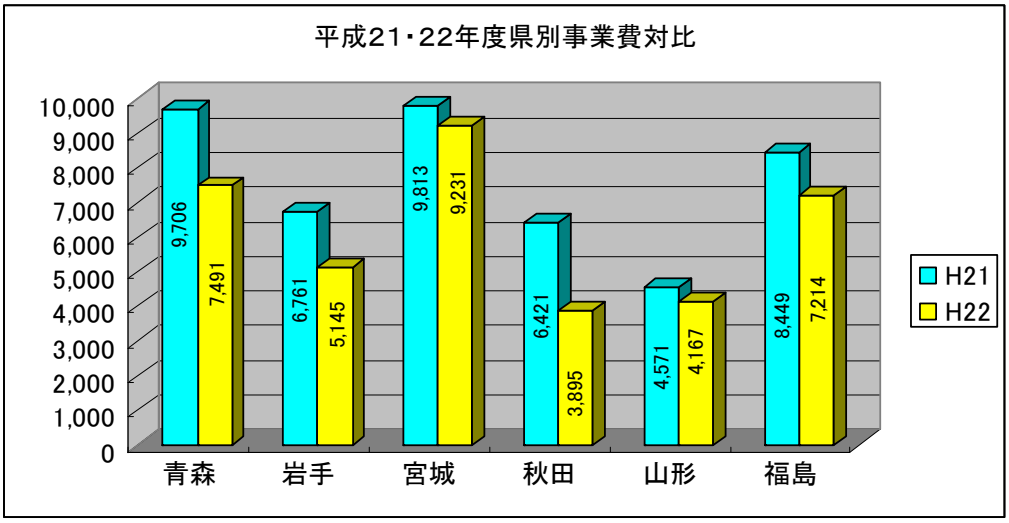
区　　分	Ｈ２２事業費	Ｈ２１事業費	伸率
補　助　金	１１，２６１	４５，７２１	－
社会資本整備総合交付金	２５，８８２	－	－
合　　計	３７，１４３	４５，７２１	０．８１２

※平成２２年度より事務費は廃止（Ｈ２１事業費は事務費を含む）

※特定治水施設等整備事業を含む



単位：百万円



整 備 局 情 報

◆ 平成２１年度現地検討会開催される　　地 域 河 川 課

平成２１年度末に開催しました『中小河川ネック部解消現地検討会』及び『中小河川河口閉塞現地検討会』について報告します。

『中小河川ネック部解消現地検討会』は、中小河川にかかる鉄道橋や道路橋及び堰等構造物箇所のネック部解消の一助となるよう、岩手県をフィールドとし東北各県における先例的な取り組み事例や課題に対して現地にて検討を行うとともに、検討事例について情報交換等を行い治水対策の早期効果発現を図ることを目的として２月１８日～１９日に岩手県盛岡市において開催しました。

今回は、テーマを一つに絞り、テーマに則したフィールドも調査するという、初めての試みでしたが、現地の「橋梁改築回避による早期効果発現やコスト縮減」に向けた取り組み事例とそれに対する情報交換、さらに各県において懸案となっている河川のネック部解消に向けた手法等について意見交換が活発に行われ、従前の改修に捕らわれない効率的・効果的な事業展開（段階的な効果発現等）を基本から考える良いキッカケになった等の評価がありました。

また、『中小河川ネック部解消現地検討会』に引き続き、その翌週（２月２５日～２月２６日）には、宮城県をフィールドとした『中小河川河口閉塞現地検討会』を宮城県仙台市において開催しました。

河口は河川と海との接点であり、そこは絶えず波と漂砂の作用を受けており、また河川を流下してきた流水や土砂が海に流れ込む場所でもあります。現象が複雑であるため、その対策に関する研究も十分ではなく、各県で大きな課題となっています。

本現地検討会では、先例的な取り組み事例や現在課題となっている事例について、現地を主体とした情報交換等を行い、今後の取り組みについて活発な意見交換が行われ、導流堤等構造物で制御するだけでなく、河口低水路を拡幅し入退潮を増加させる対策等について大変参考になった等の意見がありました。

平成２１年度は以上の２つの現地検討会を行いましたが、これに留まらず本年度も継続して『体感出来る検討会』を目指して開催していきたいと考えていますので、ご意見・ご要望等がありましたらどしどしお寄せ下さい。

最後に、今回の現地検討会は初めての試みでありましたが、岩手県河川課及び宮城県河川課の皆様にご協力をいただき、円滑に実施することができました。この場を借りてお礼申し上げます。



ネック部となる岩崎川鉄道橋



都市部における南川二層河川工事現場



漂砂が堆積している坂元川河口



意見交換会状況

各県の整備方針

『心のかよった県土づくりを目指して』



青森県　河川砂防課長　　加藤　清和

本県が掲げる　県民がやすらぎをもって安心して暮らせる「生活創造社会」の実現に向け、「青森県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」の理念の下、心のかよった県土づくりのため河川砂防及び海岸事業を着実に進めて参ります。

特に近年の厳しい財政状況においては、治水施設整備等のハード対策に加え、ソフト対策の充実・強化を図っており、携帯サイトでの「川の防災情報」の提供に加え、洪水情報をメールで自動送信する「おしらせメール」を運用しております。また、「浸水想定区域の指定・公表」及び「土砂災害警戒区域等指定」等についても着実に推進して参ります。

今後ともご指導・ご支援よろしくお願いします。

『我が県土　ともに支え育む　希望郷』



岩手県　河川課総括課長　　松本　中

岩手県県土整備部では、平成２１年度から平成３０年度までの１０年間を計画期間とする県政長期計画『いわて県民計画』に基づき、県民の生活・経済活動に必要な社会資本を適正に管理し、必要な整備を行うことにより「県民から信頼される県土づくり」を目指しています。

河川・海岸においては、県民の安全・安心な暮らしを確保するため、河川・海岸の自然環境に配慮しながら、河川海岸施設の適正な維持管理と計画的な整備を進めるとともに、水位・雨量情報の提供等、避難体制の充実に向けた支援を効果的に組み合わせ、洪水・津波被害の軽減を目指して取り組んで参ります。

依然、厳しい財政環境にありますが、選択と集中を進めながら、ハードとソフトの効果的な組み合わせにより、県民に成果が見える洪水・津波対策を推進します。また、河川・海岸管理では、独自に開発した「河川海岸施設維持管理システム」による構造物管理や施設の長寿命化計画策定に向けた取組、地域住民の参画協働によるアドプト制度など、予防・保全型の維持管理を推進して参ります。

『富県共創！活力とやすらぎの邦づくり』



宮城県　河川課長　　久保田　裕

県政運営の理念である「富県共創！活力とやすらぎの邦づくり」を実現するために，「県民と共に，未来に誇れる美しいみやぎの県土づくり」を取組み方針として，以下の５本柱に沿って施策を推進します。

１．新たな施設の重点的整備
２．既存施設の維持管理・更新
３．被害軽減のためのソフト対策
４．環境の保全・創出・利活用
５．地域との連携・協働

また，昨年１０月の台風１８号や今年２月のチリ沿岸中部地震津波では，県内に多くの被害がもたらされましたが，早期復旧を図るとともに，このような自然災害への対策を着実に進めてまいりますので，関係各位の御指導・御支援よろしくお願いいたします。

『安全・安心で快適な生活環境を目指して』



秋田県　河川砂防課長　　秋元　良三

平成２２年度は本県が新たに策定した『ふるさと秋田元気創造プラン』がスタートする年であります。

「安全・安心で快適な生活環境の確保」を施策の柱とし、「水害・土砂災害への対応力強化」「公共施設等の老朽化対策」等を重点項目として、より計画的・効果的な社会資本整備を進め、県民の安全・安心の実感に結びつくように実施して参ります。

厳しい財政状況の中、現状と課題、事業の効果等を検討し、ハードとソフトの両面からより効

果的な防災対策を推進します。また、近年頻発している局地的集中豪雨に対する職員の危機管理意識の向上はもちろん、防災情報の提供や避難体制の整備支援を進め、安全・安心で快適な生活環境の実現に向けて全力を尽くして参ります。

『山形県民のより安全・安心な「暮らし」の実現のために！！』

山形県　河川課長　　亀井　浩之



本県では、「第３次山形県総合発展計画」の県づくり構想の柱となる「暮らし」や「産業・経済」、「地域社会」における県土づくり分野をより具体化していくため、『やまがた水害・土砂災害対策中期計画』を策定しました。

本計画では、「生命（いのち）を守るための県民の備えの充実により犠牲者ゼロを目指す」、「生命（いのち）と財産を守るための防災基盤の充実を図る」を２つの柱として掲げ、以下の３つの取り組みを推進していきます。

①人命保護を最優先にした緊急避難体制の確立

②災害に対する安全性を高める河川・砂防施設の効果的な整備

③新たな維持管理システムや住民との協働による効率的・効果的な維持管理

社会資本整備を巡る環境が激変する中にありますが、今後とも水害や土砂災害に対する地域防災力を高め、県民の方々がより安全で安心して暮らせる県土を目指し全力で取り組んでまいります。

『人がほほえみ、地域が輝く”ほっとする、ふくしま”をめざして』

福島県　河川計画課長　　鈴木　潤一



平成２２年度より福島県総合計画「いきいき　ふくしま創造プラン」がスタートしました。

『安全と安心に支えられた「ふくしま」』の実現を政策の一つに掲げ、自然災害に備えた公共施設の整備など、安全で安心な生活を支える社会基盤の提供を推進します。

特に、豪雨災害や土砂災害から県民の生命と財産を守るため、近年浸水被害が発生している市街地河川や災害時要援護者関連施設のある土砂災害危険箇所を重点的に整備するとともに、住民の迅速な避難活動や地域防災力の強化を支援する取り組みを推進してまいりますので、今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願いします。

整備局の動き　等

①河川局関係事業補助担当職員　平成２２年４月１日現在【地域河川課＆水政課】

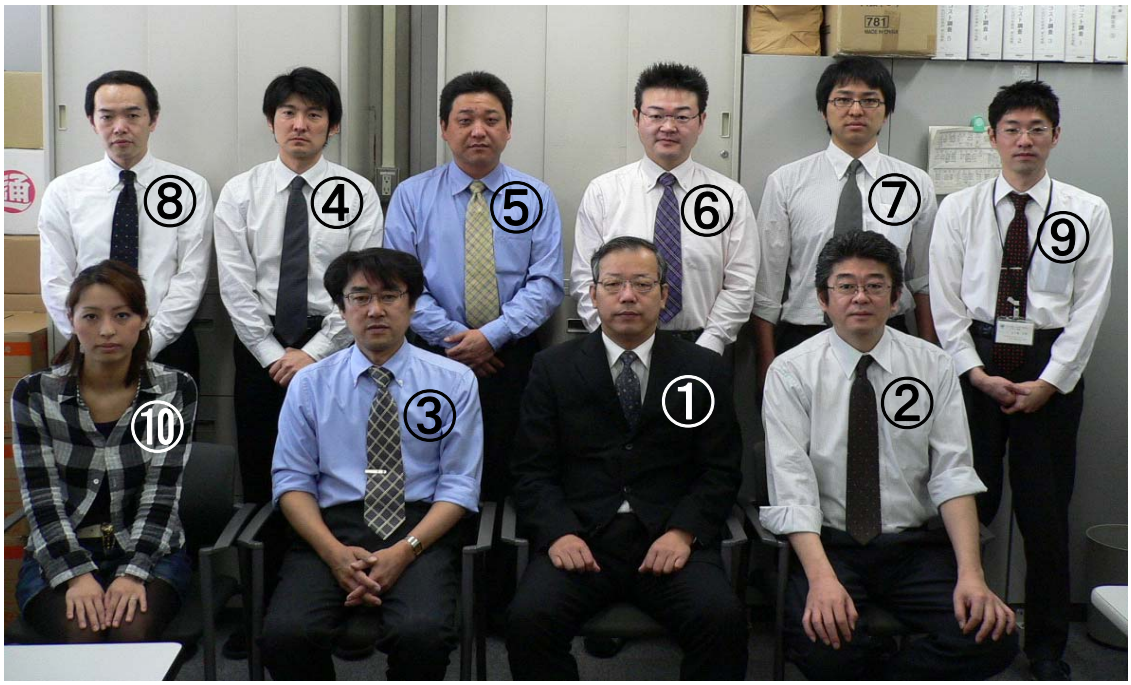
葛西地域河川調整官　(M3517)

横山地域河川課長　(M3811)

栗田課長補佐 (M3812)	小出係長(M3821)、青田(M3822)	総括、河川関係
	沢田係長(M3826)	ダム関係
藤原建設専門官 (M3815)	小出係長、青田	海岸関係
	平舘係長(M3827)	砂防関係
水政課 予算係	佐藤係長(M3586)、五十嵐(M3587)	全事業の予算関係

※　下線が今年度の新メンバーです。

平成２２年度　東北地方整備局　河川局関係事業補助担当職員



	所 属	役 職 等	氏　名	担 当 等	マイクロ番号	出身地
①	地域河川課	課長	横山 喜代太（よこやま きよた）	総括	82-3811	山形県西川町
②	地域河川課	建設専門官	藤原 裕（ふじわら ゆたか）	砂防等・海岸	82-3815	秋田県秋田市
③	地域河川課	課長補佐	栗田 信博（くりた のぶひろ）	河川・ダム	82-3812	秋田県秋田市
④	地域河川課	計画係長	小出 博（こいで ひろし）	河川・海岸	82-3821	福島県白河市
⑤	地域河川課	整備第一係長	沢田 健（さわた けん）	ダム	82-3826	秋田県横手市
⑥	地域河川課	整備第二係長	平舘 淳一（ひらだて じゅんいち）	砂防等	82-3827	青森県十和田市
⑦	地域河川課	計画係員	青田 宗之（あおた むねゆき）	河川・海岸	82-3822	岩手県洋野町
⑧	水政課	予算係長	佐藤 弘明（さとう ひろあき）	予算	82-3586	宮城県仙台市
⑨	水政課	予算係員	五十嵐 清憲（いがらし きよのり）	予算	82-3587	福島県福島市
⑩	地域河川課	非常勤職員	安齋 友美（あんざい ともみ）			宮城県仙台市

②平成２２年度の主な行事予定

年月日	県名	事業区分	行　　事　　名
5月1日～31日	宮城県	海岸	みやぎ津波防災月間
5月12日	宮城県	全般	宮城県治水・砂防協会通常総会及び治水大会
5月23日	福島県	河川	福島県水防訓練
5月26日	宮城県	全般	宮城県水防協議会
5月29日	秋田県	河川	米代川水防演習
5月下旬	宮城県	河川	洪水対応演習（※県独自）
6月6日	秋田県	砂防	全国統一土砂災害防災訓練
6月7日	青森県	河川	奥入瀬川水防演習
6月中旬	東北各県	砂防	第３回土砂災害・全国統一防災訓練
6月下旬	青森県	砂防	土砂災害防止講演会
6月下旬	岩手県	全般	岩手県災害情報協議会
7月1日～7日	宮城県	河川	水難事故防止週間
7月1日～31日	宮城県	河川・海岸	河川愛護月間・海岸愛護月間
7月3日	宮城県	河川	貞山運河フェスティバルinなとり
7月4日	山形県	河川・海岸	「きれいな川で住みよいふるさと運動」県民河川・海岸愛護デー
7月上旬～中旬	青森県	ダム	森と湖に親しむつどい
7月中旬	宮城県	河川	ラブリバー梅田川フェスティバル
7月中旬	岩手県	河川	北上川上流水防訓練
7月21日～31日	宮城県	河川	森と湖に親しむ旬間
7月上旬～下旬	岩手県	ダム	森と湖に親しむつどい
7月中旬～下旬	山形県	ダム	森と湖に親しむつどい
7月（～8月）	岩手県	河川	水難事故防止キャラバン隊活動
7月予定	福島県	河川・砂防	福島県治水協会・砂防協会通常総会
8月上旬	山形県	砂防	砂防体験塾
8月（～12月）	岩手県	海岸	県民と語る津波出前講座
9月1日	秋田県	ダム	砂子沢ダム竣工式
9月5日	山形県	河川・ダム・海岸	かわとぴあ２０１０やまがた
9月12日	山形県	河川・海岸	「きれいな川で住みよいふるさと運動」県民河川・海岸愛護デー
9月中旬	岩手県	河川	多自然川づくり研究会
10月下旬	宮城県	全般	実践河川講座（※宮城県河川局所管事業関係技術者研修）
11月上旬	岩手県	全般	いわて環境王国展
12月上旬	青森県	砂防	雪崩防災教室
1月中旬	宮城県	全般	治水講座
3月	岩手県	ダム	遠野第二ダム竣工式

編集後記



今年度も引き続き「個性の大地」編集委員を務めることとなりました。これまで以上に皆様に親しまれる連携誌になるよう努力しますので、皆様からの積極的な投稿等のご協力をお願い致します。　また、整備局の新メンバーについても前任者同様（前任者以上に(*^_^*)）よろしくお願いします。

※ 私は犬を４頭飼っており年間発行予定数４号と同じ数なので、発行の都度、自分への褒美として毎号１頭ずつ紹介していきたいと思います。１頭目はヨークシャーテリアのジミー（９歳）です。

（ヒラダテ）